

令和 7 年 12 月 1 日

見附市議会議員 様

見附市議会議員 馬場 哲二

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【 1 】 稲田市政 2 期目 市民の心に寄り添う市政を

答弁を求める者 市長・教育長

異常な物価高騰と消費税額の負担増に、市民は毎日苦しめられています。政府は 11 月 28 日、総合経済対策に基づく 2025 年度補正予算案を閣議決定。経済対策の関係経費は 17.7 兆円規模となり、コロナ危機を除けば最大規模になります。しかし、中身は消費税減税を拒否し、「最低賃金時給 1500 円」目標さえ取り下げるなど、物価高から暮らしを守り経済を立て直すという太い柱が何もありません。

そのうえ、軍事費の国内総生産比 2%の 2 年前倒し、OTC 類似薬の保険外しの負担増、労働基準法を破壊する規制緩和まで、無責任な大軍拡、バラマキ財政であり、その財源も国債頼みとなっています。

国の国民いじめの政治から市民を守る市政が求められています。今、2026 年度の予算編成に向けて作業がすすめられています。その大事な 12 月議会にあたり、いくつかの問題について提起し質問いたします。

1 会計年度任用職員の理不尽な格差・差別について、直ぐに改善できることがあります。

2020 年会計年度任用職員制度が誕生しました。現在、総務省が公表している会計年度任用職員は 66.1 万人おり、公務に携わっています。見附市でも職員の 4 割に当たる人が会計年度任用職員として、市民サービス業務に従事しています。

稲田市長は、業務ミスが続いたことを受けて、職員が 100%能力を発揮できる環境整備を意識されてのことかと思いますが、「正規職員の採用の検討」と発言されたと聞いています。公務公共一般労働組合新潟県本部の行ったアンケート調査で、不安定な雇用の下でも「市民サービスに携われることに生

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウエ



きがいを感じている」と多くの方が答えています。

こうした意欲ある職員に行政サービスは支えられています。2期目を迎えた稲田市長がどのように認識され、応えようとされているか伺います。

(1) 会計年度任用職員の給与改定時期について

ア 令和5年5月2日総務省通知は、正規職員の給与改定が行われたときは、それに準拠して会計年度任用職員の給与改定を行い、4月1日に遡及して行うことを求めています。市は総務省通知に従い実施すべきです。

市は会計年度任用職員の給与改定は1年遅れて翌年度4月実施としています。その理由は何か伺います。

イ 令和5年11月9日、参議院 総務委員会で日本共産党参議院議員の伊藤岳氏が会計年度任用職員の給与の遡及改定と期末手当の支給、その財源について質問しています。

それに対する答弁は、「会計年度任用職員の給与改定に係る所要額を含め、年度途中に生じる財政需要につきましては、あらかじめ地方財政計画に計上しております追加財政需要額により対応することを基本としております。年度途中に生じる財政需要の見込みがこの追加財政需要額を上回る場合には、補正予算による地方交付税の増額も含めて適切に対応してまいりたいと考えております」というものでした。

国は財政的支援もとっています。支援を活用してただちに行うべきです。見附市の今後の方針について伺います。

(2) 会計年度任用職員の給与決定基準と経験年数を考慮した給与決定について

ア 令和7年6月25日付総務省通知を踏まえ、会計年度任用職員制度の実態を把握し、給与報酬のあり方について検討する必要があると思いますが、市長の見解を伺います。

2 花角知事の柏崎刈羽原発再稼働容認の報道を受けて、市民の安全・安心を守るべき立場に立っている市長の認識を伺います。

新潟県議会は令和7年11月21日、自民党・公明党が提案した決議案、知事が「県民の意思を確認する方法」として県議会が選択した場合、議会の意思を示すことを決意する」との決議案を賛成多数で可決しました。

これは2018年の初当選以来、再稼働の是非は「職を賭して信を問う」としてきた花角知事の公約違反、県民を裏切る立場の表明にほかなりません。

以下、質問します。

(1) 市長は、9月議会で私の質問に対し「3つの見解」を知事に申し上げると答えています。11月14日の意見交換会で知事に伝えたのかどうか。知事はどう対応されたか伺います。

(2) 上越、小千谷、見附、出雲崎の4首長「知事の判断を尊重する」との考えを示したと報道されています。「知事の判断」は「再稼働容認」です。「知事の判断を尊重する」としたその根拠は何ですか伺います。

(3) 「県民意識調査」はUPZ自治体へは独自のデータが公表されることになっています。長岡市はデータの公表と市の分析を公表しています。見附市はデータの公表と分析結果を市民に明らかにすべきです。見解を伺います。

(4) 「県民に信を問う」方法として「再稼働の是非を問う県民投票」を支持する声は圧倒的です。県議会議決のみで地元同意とするのは県民の意思に反することになります。市長の見解を伺います。

3 異常な物価高騰で市内の自営業者の皆さんがどのような状況にあるか。消費税やインボイス制度がどのような負担になっているか。令和7年11月26日共産党議員団、共産党見附市委員会、見附民主商工会で見附商工会を訪問、1時間余懇談を行いました。

市内の中小企業、自営業者の商売は厳しい状況にあります。市は市内業者の状況を把握し、新年度の予算編成に生かすことが求められています。水道料金の減免措置などの効果的で具体的な支援を組まれることを求めます。見附市のお考えをお伺いします。

4 熊、イノシシの人の生活圏への出没で農作物への被害も生まれています。子供たちの通学に不安も広がっていると聞いています。市でも対策への支援策がとられています。

現状は、農作物への大きな被害の出ている集落の人たちが市の支援策を活用して捕獲して頑張っています。しかし、限界だと言われています。以下、質問します。

(1) 銃、罠による捕獲などは市の力だけでは出来ないと認識しています。市ができることを予算化し、県レベルの対策を行うべきと思いますが、お考

えを伺います。

(2) 児童の安全確保のための通学用バスは必要になってから運転手・車の確保は難しくなっています。児童の生命の安全に関わることであり、新年度の予算編成を含めてしっかりした対応を求めます。お考えをお伺いします。

5 市は財政が厳しいとして市民の文化団体への補助金の一律カットをしたと聞いています。見附市は市民の文化団体の活動を大切にしてきた町です。文化活動は心豊かなまちづくりにつながります。今後の活動が維持できるかとの声が寄せられています。「暮らし満足 NO.1 のまちづくり」「健幸なまちづくり」のためにはこうした団体への支援をするべきと考えます。お考えを伺います。